

Rd

RECYCLE DESIGN

Jul. 2016
No. 260

横浜型地域貢献企業
最上位認定取得

RECYCLE
Design

戸塚区前田町町内会
近藤 和俊さん

戸塚区前田町町内会
北橋 弘子さん

戸塚区前田町町内会
安井 友朗さん

特集

資源集団回収の 正しい分別と出し方

前田町町内会館

3
夢

廃油回収
ボックス



特集

資源集団回収の正しい分別と出し方

資源集団回収は、自治会や町内会が回収業者と直接契約し、古紙、古布を中心に回収を行う方法です。横浜市の古紙と古布の回収は、100%が資源集団回収で実施されています。読者の皆さんの自治会・町内会でも古紙・古布は資源集団回収に出しているはずですよ。そこで今回は、資源集団回収の資源物の分別と出し方の基本をご紹介します。

横浜市の古紙・古布の回収を担う資源集団回収をもっと上手に活用しよう

横浜市の資源集団回収は1990年代に急速に普及

資源集団回収は、横浜市が回収を行う「行政回収」とは異なり、自治会・町内会が回収業者と直接契約し、資源物の回収を委託する方法です。横浜市の古紙と古布は、100%が資源集団回収によって収集されています。今回は、資源集団回収に資源物を出すときの分別方法や基本的なマナー、豆知識などをご紹介します。

最初に、資源集団回収の簡単な歴史について説明しておきましょう。かつては、古紙やびん、缶の回収は廃品回収と呼ばれ、自治会や町内

会、小学校などが独自に回収し、専門業者に売却していました。1980年代前半に全国各地で集団回収という資源物回収の方式が行われるようになり、横浜市でも導入する自治会・町内会が出始めます。横浜市は、1983年に自治会・町内会の自主的な資源集団回収に対して、リヤカーなどの現物支給による助成を開始しますが、まだ資源集団回収は一般的ではありませんでした。横浜市が1989年に自治会・町内会、PTAなどの登録団体に対して、定額制奨励金を交付するようになり、翌1990年には奨励金を従量制に変更すると、資源集団回収を導入する自治会・町

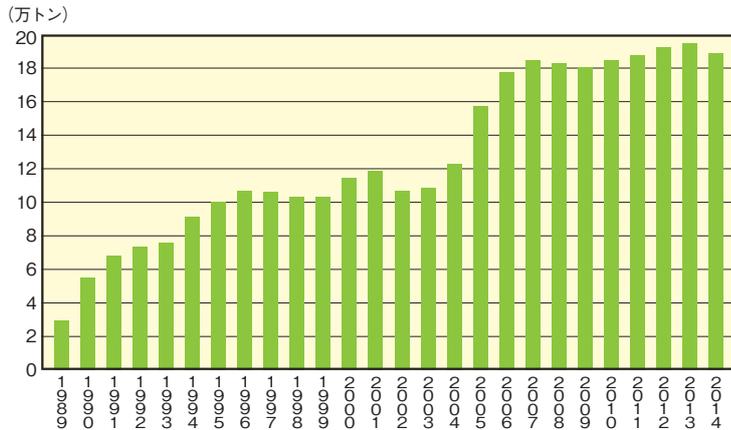
内会が急増します。資源集団回収による資源物の回収量の推移を見ると、1990年から一挙に増加しているのがわかります(グラフ1)。その後、2003年に「横浜G30プラン」が策定されたことで、さらに資源物回収量は増えています。

燃やすごみに混入しやすい古紙をしっかり分別

資源集団回収に出される資源物で一番多いのが「古紙」です。古紙は「新聞紙」「段ボール」「雑誌」「その他の紙」「紙パック」の5種類に分別して出すことになっています。これらの古紙を出すときに、混ぜては

きん きひん

グラフ1：資源集団回収量（古紙類、布類、金属類、びん類）の推移



出典：横浜市資源循環局

表1：紙類にまぜてはいけないもの（禁忌品）

- 汚れた紙
- 銀紙
- 内側がアルミ貼りの紙パック
- ヨーグルト・アイスクリームの紙製容器
- カップ麺の容器
- 洗剤の紙製容器
- 石鹸の個別包装紙
- 裏カーボン紙
- 捺染紙（アイロンプリント紙など）
- 感熱発泡紙
（点字などに使用されている熱を加えたところが盛り上がる紙）
- その他紙以外のもの（プラスチック、金属、木、布など）

いけないものとして、「^{きん きひん}禁忌品」と呼ばれるものがあります(表1)。汚れた紙や銀紙、内側がアルミ貼りの紙などは、読者の皆さんもよくご存知だと思います。他にも、ヨーグルトやアイスクリームなどの汚れや臭いが付いている紙、洗剤類の強い臭いがついている紙なども禁忌品となるので、その他の紙などに混じらないように注意してください。

また、家庭から出される「燃やすごみ」の内容物を調べる「組成調査」によると、燃やすごみにはリサイクル可能な「古紙」が約1割も混入していることが分かっています。特に「その他の紙」を燃やすごみに入れてしまうことが多いようです。せっかくの再生可能な資源物なのですから、家庭で紙類をごみ箱に捨てる際には、ちょっと手を止めて、リサイクルできる紙かどうかをぜひもう一度考えてみてください

利 用者が協力し合って 回収場所をきれいに使う

ここからは、資源物を出すときに参考にしていただきたい基本的なマナーについてご紹介します。

回収場所に資源物を出す場合には、必ず品目ごとに分けて出すことになっています。先述した5種類の紙のほかに、「古布」や自治会・町内会によっては「アルミ缶」も回収対象となっている場合があります。これらを決められた回収日に、決められた回収場所に出すわけですが、ちょっとしたマナーで回収場所の美観と回収作業の効率が変わってきます。

3ページに資源物の出し方の「良い例」と「悪い例」を掲載しました(写真1・2)。良い例では、品目ごとにそれぞれ置き場所を決めて、資源物を整理して出しています。一方の悪い例では、品目に関係なく、すべての資源物が山積みになっているため、散らかってごみが散乱しているかのように見えます。美観を損ねるだけでなく、回収車が品目ごとに回収するために、積み上げられた山の中から目的の資源物を探し出さなくてはならず、余計な時間がかかってしまいます。また、山になった資源物をごみだと思って、通りかかった人が他のごみを出してしまうことも考えられます。さらには、「燃やすごみ」「缶・びん・ペットボトル」「プラス

チック製容器包装」などの行政回収と回収日が同じ場合には、それらが混じってしまうこともあります。整理されていない回収場所は、混乱によるごみと汚れを呼び込み、ますます美観を損なっていくのです。

ここで、回収場所をきれいに使うために、出し方のちょっとしたテクニックをご紹介します(写真3)。最初に資源物を出す人が、回収場所全体を使って、品目ごとにたっぷりスペースをとって出すようにします。次の人は、最初に置かれた資源物と同じ資源物を並べたり、重ねたりして出します。次の人も同様にする事によって、自然と品目ごとに整理された状態になるのです。あらかじめ回収場所を利用する皆さんで話し合っ、出し方をルール化する必要がありますが、皆さんが協力し合っ、ちょっと気を遣うだけで、きれいな回収場所が維持できるのです。

新聞・雑誌をしっかりと 確実に結ぶテクニック

新聞や雑誌を束ねたときに、しっかりと縛ったはずなのに、持ち上げるとバラバラになってしまった経験

写真1：資源物の良い出し方



資源物の品目ごとに
出す場所を分けて、
混じらないように出
してください。

写真2：資源物の悪い出し方



すべての資源物が混
じっています。隠れ
た資源物の回収漏れ
などが起こりやすく
なります。

写真3：回収場所の上手な利用法



最初に出す人が品目ごとにそれぞれを少
し離して出します。

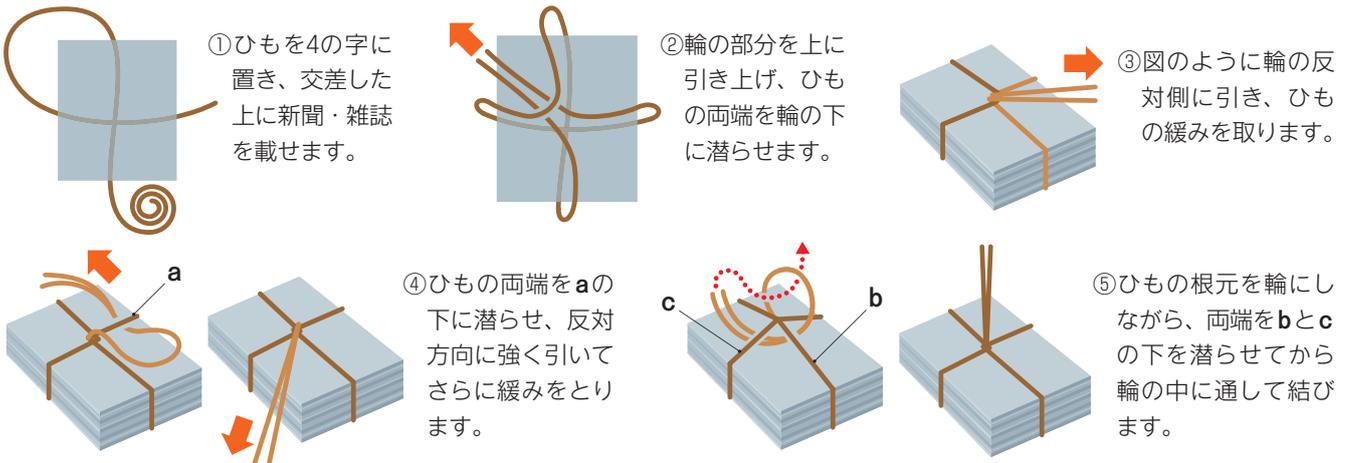


次の人からは、同じ品目の近くに出すよ
うにしていきます。



整理しなくても自然に品目ごとにきれい
に分かれて出されていきます。

図1：新聞・雑誌の束ね方テクニック



がありませんか。そこで、女性でもしっかりと結ぶことができ、ひもが少し緩くなっても新聞や雑誌が落ちない結び方を紹介します(図1)。結び方の名称はありませんが、最初のひもの置き方から、「4の字結び」「α(アルファ)結び」と呼ぶ人もいます。詳しい結び方は、上の図解を見てください。

この方法は、ひもの緩みをとる作業を2回行うため、比較的しっかりと結ぶことができます。また、ひもを周囲にぐるぐると二重、三重に

廻さなくても、縛った後にひもの輪から中身が落ちてしまうこともあります。結ぶときに束をひっくり返したり、持ち上げることもないので、力も必要ないのです。慣れてしまえば、短時間で結ぶことができますので、試してみてください。

資源集団回収の資源物の分別について

4ページに資源集団回収の分別表を掲載しています。分別する際の注意点なども書き添えてあります。そ

のまま壁などに貼って掲示できますので、活用してください。

資源物の回収は、原則として朝8時から回収をスタートし、午後4時には終了します。そのため、資源物は当日の朝8時までに出してください。朝8時以降に出された資源物は回収することができません。正しい分別と、上手な回収場所の利用、ルールを守った資源物の出し方など、市民の皆さんと回収業者が協力し合っ、これからも資源物のリサイクルを推進していきましょう。

資源物集団回収の分別表

回収された資源物は、それぞれが別の資源となります。そのため、必ず品目ごとに分別してください。

新聞紙



四つに折ってから重ね、十文字に縛って出します。折り込みチラシが入っても大丈夫です。カビが生えた新聞は出さないでください。

段ボール



箱を開いて潰し、重ねて縛って出します。箱の中にその他の紙を入れないでください。ビニールやアルミコーティングされた段ボールは出せません。

雑誌



重ねて縛って出します。たとえ冊数が少なくても新聞やその他の紙などを一緒に束ねないでください。CDやDVDなどの付録は外してください。

その他の紙



紙袋に入れ、袋の口を閉じて出します。燃やすごみの混入が多いので注意してください。シュレッダーした紙は、紙袋かビニール袋に入れて出してください。

紙パック



「紙パックマーク」が付いた飲料用パックが対象です。洗って、開いて乾かし、重ねて縛って出します。プラスチックの蓋やストローは外してください。

古布



洗って乾かし、ビニール袋に入れ、口を閉じて出します。ビニール袋以外に入れるのは避けてください。雨の日には出さないでください。

小結くん

牛乳パックから再生した紙ひもです。新聞や雑誌を束ねるときに使えば丸ごとリサイクルできるので手間と時間が省け、ごみ減量にも貢献します。

バラ売り 1巻き(90m) **240円** 箱売り 1箱(50巻入り) **10,800円**



「小結くん」はリサイクル組合の登録商標です。

●お問い合わせ・ご注文……横浜市資源リサイクル事業協同組合 事務局 TEL : 045-444-2531 E-mail : mail@recycledesign.or.jp

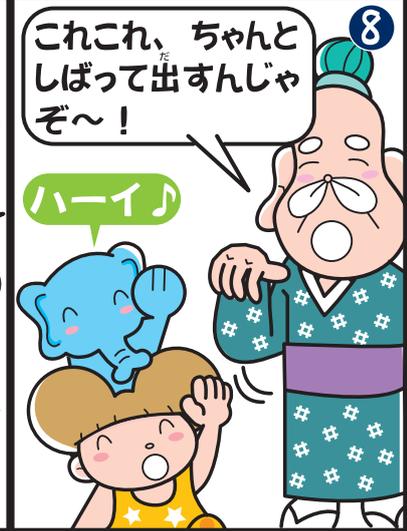
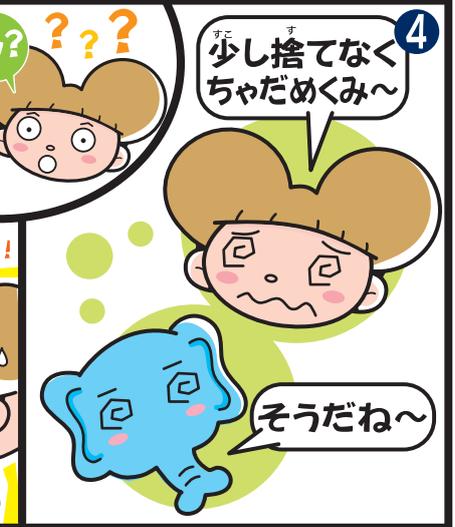


これでスッキリ!

No. 26

リくみの分別講座

ぼくじゅう え ぐ つ かみ なに
墨汁や絵の具の付いた紙は何ごみになるの?



始末の一品

リメイク料理編



今月の残りもの料理

ひき肉とコーンの キーマカレー

カレーの残りはたくさんのリメイクが可能です。どこのご家庭にも定番のアレンジがあると思います。そこで今回は、あまり見かけないちょっと変わったアレンジレシピをご紹介します。

カレードリアのパプリカ焼き



材料(2人分)

- カレー……お玉1杯強
- パプリカ(赤)……1個
- ご飯……茶碗に軽く1.5杯分
- ピザ用チーズ……大さじ2
- 粉チーズ・塩・こしょう……適量

- ① ボウルに温かいご飯とカレー(大さじ2を残した量)を入れて混ぜ、塩・こしょうで味を調える。
- ② パプリカを横半分に切り、ヘタと種、ワタを取り除く。
- ③ ①をパプリカに詰め、残りのカレーを大さじ1ずつかけてからピザ用チーズと粉チーズをのせる。
- ④ 耐熱器にのせてオーブントースターで15分程焼く。こんがり焼き色がついたらできあがり。

材料(1人分)

- カレー……大さじ4
- 冷凍うどん……1玉
- 鶏ガラスープの素……小さじ1
- 水……カップ1
- 豆乳……大さじ5
- ゴマドレッシング(市販)……大さじ1
- 水菜(ざく切り)……適量

- ① 器にゴマだれを入れておく。
- ② 鍋に水と鶏ガラスープの素を入れ、沸騰したらカレーと豆乳を加えて、さっと混ぜる。
- ③ 熱湯に冷凍うどんを入れ、ほぐしながら1分ほど温める。
- ④ ①の器に②のスープを入れ、軽く混ぜる。湯切りしたうどんを入れて水菜をのせ、ごまを振る。好みでラー油をかけても美味しい。

カレー風味の坦々うどん





横浜開港祭で分別体験ブースを出展

リサイクル組合は、6月1日(水)、2日(木)に開催された「第35回横浜開港祭2016」において、分別体験ブースを出展しました。2日間の合計で139名の方に体験いただき、完璧に分別できた方に贈られる「パーフェクト賞」が2組出ました。特に2日は横浜市内の小学校が休みということもあり、午前中からたくさんの家族連れの方々にご来場いただきました。子ども達と楽しく分別体験をしたあと、答え合わせでは、お父さんやお母さんが分別について熱心に質

問をする姿が印象的でした。リサイクル組合では、今後もさまざまな活動を通して、分別知識の普及活動に努めるとともに、皆さまと一緒に3Rが浸透した街づくりに貢献していきたいと思えます。今後も各種イベントでリサイクル組合のブースを見かけた際には、ぜひお立ち寄りください。



当日はたくさんの方に来場していただきました。

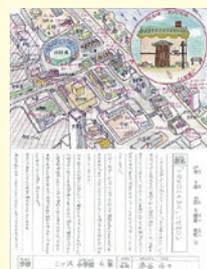
■「第35回横浜開港祭2016」
主催：横浜開港祭協議会
会期：2016年6月1日(水)、2日(木)
場所：臨港パーク(分別体験ブースは会場内のエコキッズパークに出展)



環境絵日記
リーダーの
つぶやき②

今年のテーマは「みんなで作る環境未来都市・横浜」

配布される
応募要項



2015年度の市長賞
受賞作品

今回は、応募のテーマについてお話しします。2000年の開始時より、“3R”や“もったいない”といった環境を思う子どもたちの想いを募ってきました。2012年からは横浜市との共催が実現し、“環境未来都市”という一見難しいテーマについて考えていただいています。

環境未来都市には5つのキーワード「低炭素・省エネ社会」「クリエイティビティ」「チャレンジ」「水・自然環境」「超高齢化対応」があります。環境問題だけではなくもっ

と広い視点から「横浜」について家族で考え、表現していただきます。きっと思いもよらない気づきや提案が集まるはずですよ。

そんな自由な発想の素敵なメッセージを受け止めてくれるサポーターを募集しています。市民選考会や個人協賛など皆さまに参加していただく機会を設けていますのでぜひ検索してみてくださいね！

詳しくは「環境絵日記」で検索してください。
■問合せ先：横浜市資源リサイクル事業協同組合「環境絵日記」係
TEL：045-444-2531 FAX：045-444-2532

表紙に登場!
今月の町内会
Recycle Designer

戸塚区前田町町内会

早朝ウォーキングで集積所を巡り、街の美化に取り組む町内会

前田町町内会は入会世帯数が1,500世帯、地域の85%の世帯が入会しています。町内会独自の取り組みとして、廃油の回収を通年でっており、町内会館での会議やイベントなどの際に各ご家庭から持ち寄ってい

ます。ひと月に約30リットル集まり、業者を通じて車や発電の燃料などに生成されるそうです。また、早朝ウォーキングをしながら町内の集積所を巡回し、各所の美化や分別の指導もしているとのことですよ。

「リサイクルデザイン」の冊子を毎月全世帯に配布していただいております。「リサイクル業界の情報から家庭での分別まで、わかりやすく書かれていて、啓発資料として活用しています」とのお言葉をいただきました。

リサイクルデザインのバックナンバーは、ホームページからもご覧いただけます

<http://www.recycledesign.or.jp/rd/>

スマホ、タブレットなどはこちらのQRコードからアクセスできます。

